

科目名	福祉社会開発研究方法論特講	2 単位
担当者	末盛 慶	
テーマ	研究を行う上で必要となる調査方法について理解を深める。	
科目のねらい	<キーワード> 科学 研究方法 質的方法 量的方法 混合研究法 <内容の要約> 本講義では、研究を行う上で必要となる研究方法を学ぶ。具体的には、質的方法、量的方法、混合研究法を扱う。質的方法に関しては、質的方法の特徴、質的研究における研究課題の定め方、データ収集の仕方、質的データの分析方法等について解説する。量的方法に関しては、仮説の作成、質問紙の作り方、対象者の抽出方法、調査の実施方法、データの作成と多変量解析について学びます。混合研究法に関しては、混合研究法の定義、種類、研究の進め方、注意点等について説明を行います。 <学習目標> 科学の歴史と現状を理解する。質的方法を理解する。量的方法を理解する。混合研究法を理解する。	
授業の進め方	本科目はオンデマンド授業になります。ディスカッションはありません。 「nfu.jp」→「スタディ」から受講して下さい。 各回のオンデマンド授業を視聴し、質問があれば掲示板に書き込んでください。 進行の目安は、各回2週間程度とします。 *動画視聴のみのオンデマンド科目のため、各回の講義日程はあくまでも目安です 第1回 5月5日～ 科学とは何か：その歴史と現在 第2回 5月19日～ 質的方法の概要 第3回 6月2日～ 質的データの取り方 第4回 6月16日～ 質的データの分析Ⅰ：グラウンデッド・セオリー・アプローチ 第5回 6月30日～ 質的データの分析Ⅱ：修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ 第6回 7月14日～ 質的データの分析Ⅲ：参与観察法・エスノグラフィ 第7回 7月28日～ 質的データ分析Ⅳ：ケーススタディ 第8回 8月25日～ 量的方法の概要：仮説の設定 第9回 9月8日～ 質問紙の作成と配布の方法 第10回 9月22日～ 質問紙の配布とデータ入力 第11回 10月6日～ 関連を検討する：単純集計とクロス集計 第12回 10月20日～ 統計的検定 第13回 11月3日～ 多変量解析Ⅰ：検定・分散分析・相関分析・回帰分析 第14回 11月17日～ 多変量解析Ⅱ：因子分析・信頼性分析 第15回 12月1日～ 混合研究法 課題レポート提出期限：2026年1月23日〔金〕 *提出方法やレポートの詳細については、nfu.jpのスタディ上でご確認ください	
事前学習の内容・学習上の注意	質的研究に関しては、ウヴェ・フリック(2011)『質的研究入門(新版)』春秋社を、量的研究に関しては、サラ・ボスラフ(2015)『統計クイックリファレンス(第2版)』オーム社を、混合研究法に関しては、ジョン・W. クレスウェル(2017)『早わかり混合研究法』ナカニシヤ出版を読んだ上で、本講義を受講してください。各回の講義で紹介される参考図書も積極的に読みください。	
本科目の関連科目	—	
テキスト	—	
参考文献	野村康(2017)『社会科学の考え方』名古屋大学出版会 伊丹敬之(2001)『創造的論文の書き方』有斐閣 パンチ,K.F.(2005)『社会調査入門：量的調査と質的調査の活用』春秋社	
レポート課題 単位認定方法と基準	レポート課題は各自の調査と分析の計画です。その内容をみて、評価を行います。	

科目名	福祉社会開発政策・実践論特講		2 単位														
担当者	申請に基づく単位認定科目（各専攻において単位認定判定を行う）																
テーマ	福祉社会開発に向けた学際的アプローチを学ぶ																
科目のねらい	<キーワード> 社会的課題、ポジティブ・ウェルフェア、社会保障、社会政策、開発、自立と依存 <内容の要約> 複雑・多様化する今日の社会において、単独の学問では解決し得ない社会的課題が生まれている。本科目では、社会的課題の解決に向けた学際的なアプローチを学ぶ。それを踏まえて、自らが専攻する学問の固有性を理解するとともに、他の領域との融合による研究のあり方を考える。 <学習目標> 福祉社会開発の視点、価値を自らの研究に活かすことができる。 福祉社会開発研究における多様なアプローチ方法を説明することができる。 社会的課題の解決に向けた研究をデザインすることができる。																
授業の進め方	<table><tr><th>日程・講師</th><th>内容</th></tr><tr><td>【第1回】 6月15日（日）13:15～16:30 二木立先生</td><td>【講義】 全体テーマ：2025年の医療制度改革の課題と論点 第1部：「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」の評価とそれへの対応 第2部：私が高額療養費制度の患者自己負担増に反対する理由</td></tr><tr><td>【第2回】 7月6日（日）13:15～16:30 白澤政和先生</td><td>【講義】 地域共生社会確立に向けたソーシャルワークの課題 ～市町村は包括支援体制をいかにつくるのか～ 【演習】 地域共生社会づくりでの8050世帯へのケアマネジメント～ストレングスを活用したケアプラン作成～</td></tr><tr><td>【第3回】 9月28日（日）13:15～16:30 近藤克則先生</td><td>【講義】 健康格差の縮小は可能か？ ～健康格差（社会経済的要因による集団・地域間の健康状態の差）の縮小に向けて取り組んできた研究の成果を紹介 【演習】 健康格差の縮小のためになすべきことは何か？</td></tr><tr><td>【第4回】 10月19日（日）13:15～16:30 大橋謙策先生</td><td>【講義・演習】 地域共生社会政策の具現化における重層的支援体制とコミュニティソーシャルワーク</td></tr><tr><td>【第5回】 11月30日（日）13:15～16:30 宮本太郎先生</td><td>【講義・演習】 地域共生への政策課題と孤独・孤立対策</td></tr><tr><td>【第6回】 12月14日（日）13:15～16:30 山縣文治先生</td><td>【講義・演習】 就学前保育・教育制度の展開と今後</td></tr></table> 本科目は単位認定申請科目です。 大学院特別公開セミナー※を受講することにより、単位認定申請が可能となります。 ※名古屋キャンパスにて、ハイブリッド形式で開講されます。			日程・講師	内容	【第1回】 6月15日（日）13:15～16:30 二木立先生	【講義】 全体テーマ：2025年の医療制度改革の課題と論点 第1部：「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」の評価とそれへの対応 第2部：私が高額療養費制度の患者自己負担増に反対する理由	【第2回】 7月6日（日）13:15～16:30 白澤政和先生	【講義】 地域共生社会確立に向けたソーシャルワークの課題 ～市町村は包括支援体制をいかにつくるのか～ 【演習】 地域共生社会づくりでの8050世帯へのケアマネジメント～ストレングスを活用したケアプラン作成～	【第3回】 9月28日（日）13:15～16:30 近藤克則先生	【講義】 健康格差の縮小は可能か？ ～健康格差（社会経済的要因による集団・地域間の健康状態の差）の縮小に向けて取り組んできた研究の成果を紹介 【演習】 健康格差の縮小のためになすべきことは何か？	【第4回】 10月19日（日）13:15～16:30 大橋謙策先生	【講義・演習】 地域共生社会政策の具現化における重層的支援体制とコミュニティソーシャルワーク	【第5回】 11月30日（日）13:15～16:30 宮本太郎先生	【講義・演習】 地域共生への政策課題と孤独・孤立対策	【第6回】 12月14日（日）13:15～16:30 山縣文治先生	【講義・演習】 就学前保育・教育制度の展開と今後
日程・講師	内容																
【第1回】 6月15日（日）13:15～16:30 二木立先生	【講義】 全体テーマ：2025年の医療制度改革の課題と論点 第1部：「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」の評価とそれへの対応 第2部：私が高額療養費制度の患者自己負担増に反対する理由																
【第2回】 7月6日（日）13:15～16:30 白澤政和先生	【講義】 地域共生社会確立に向けたソーシャルワークの課題 ～市町村は包括支援体制をいかにつくるのか～ 【演習】 地域共生社会づくりでの8050世帯へのケアマネジメント～ストレングスを活用したケアプラン作成～																
【第3回】 9月28日（日）13:15～16:30 近藤克則先生	【講義】 健康格差の縮小は可能か？ ～健康格差（社会経済的要因による集団・地域間の健康状態の差）の縮小に向けて取り組んできた研究の成果を紹介 【演習】 健康格差の縮小のためになすべきことは何か？																
【第4回】 10月19日（日）13:15～16:30 大橋謙策先生	【講義・演習】 地域共生社会政策の具現化における重層的支援体制とコミュニティソーシャルワーク																
【第5回】 11月30日（日）13:15～16:30 宮本太郎先生	【講義・演習】 地域共生への政策課題と孤独・孤立対策																
【第6回】 12月14日（日）13:15～16:30 山縣文治先生	【講義・演習】 就学前保育・教育制度の展開と今後																
単位認定申請手順	1. 単位認定申請の手順 1) 大学院特別公開セミナーの、参加申込の手続きをおこなう。 申込先…https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/2025/kenkyu/ ※本科目は、大学院特別公開セミナーへの参加申込をもって履修登録とします。 nfu.jp上で履修登録をおこなう必要はありません。 2) 全6講中5講義以上を受講し、受講後「受講証明書」を受け取る。 3) レポート課題の作成。 ※下記「成績評価方法と基準」欄に示すテーマについてレポートを作成。 4) 必要書類（受講証明書・レポート課題）を提出し、単位認定申請をおこなう。 ※単位認定申請の結果は後期成績発表時に通知します。 2. 単位認定の申請期限および申請方法 1) 提出書類：受講証明書 + レポート課題 2) 提出期限：2025年12月15日（月）～2026年1月9日（金） 3) 提出方法：窓口提出または nfu.jp「スタディ」内の所定BOXへの提出																
成績評価方法と基準	大学院特別公開セミナーの受講証明書を提出し、提出したレポートの「合格」判定により単位認定されます。レポートのテーマは、「セミナーを受講し、新たに学んだ点、自身の研究・実践に活かせると考えた点」などについて、A4版（40字×40行程度）3頁以内で作成してください。																